

UIFA JAPON

NEWSLETTER

■主な内容

1996年度通常総会を迎えるに当たって

1996年度通常総会のお知らせ

1996年度役員会の報告

第12回UIFAハンガリー大会参加ツアー

財東京女性財団助成研究活動

会員の自己紹介 No.1

海外だより

NEWS -会員の活動-

■1996年度通常総会を迎えるに当たって

UIFA JAPON会長 中原暢子

例年より肌寒とは申しながら風薫る心地よい季節となってまいりました。また先にご案内申し上げましたように6月の通常総会の時になりました。

会員の皆様方にはますます御活躍の事と推察申し上げます。

さて今年度は9月に、UIFAの第11回大会がハンガリーのブタペストで開催されます。今年はハンガリー建国1100年の記念すべき年にも当たっております。美しくさまざまな歴史と遺産にこの際ふれるよい機会かと思えます。一人でも多くの会員の皆様のご参加をお願い申し上げます。

また今年度の仕事と致しましては、「すまいをめぐる女性」-戦後50年の住宅と女性建築家の歩み-というテーマで、東京女性財団から研究助成金の交付も決まり、来年3月までに完成させようと努力致しております。いろいろ御協力を戴かねば出来ませんので何とぞよろしくお願い致します。

また1998年には、UIFAの大会を日本で開催しようと致しております。これまた会員の皆様のお力添えがなければとても出来ません。その準備は今年度の中になければなりません。これは、UIFA JAPONを設立した目的の一つでもありますので、なんとか成功させなければと役員一同頑張っているところです。会場を決定するのも寄付を募るのも皆様におたよりしなければ出来ません。すべての問題を把握してはいない状態なのですが、今年度のハンガリー大会で開催することを宣言してしまいますと、開催しなければなりません。今年度は是非ご参加戴きご意見をお聞かせ戴きたくお願い致します。

■1996年度通常総会のお知らせ

UIFA JAPONの1996年度の通常総会が下記の通り開催されます。今年のUIFA JAPONは第11回UIFAハンガリー大会への参加、'98予定、第12回UIFA日本大会開催準備等新たな活動が展開します。この出発点ともなる'96年度通常総会に多数ご出席下さい。

◇日時：1996年6月8日(土) 13:00(開場)

◇会場：1. 1996年度通常総会・講演会

東京芸術劇場 5階 中会議室 TEL:03-5391-2111

2. 懇親会

東京芸術劇場 2階 カフェ・コンチエト TEL:03-5992-2578

◇プログラム：1. 1996年度通常総会 (13:30~14:00)

1) 1996年役員を選出

2) 1995年度事業報告及び収支報告

3) 1996年度事業計画及び予算書案

2. 講演会 (14:15~16:15)

〈ビネル・エテ〉の建築探訪 講師 渡辺美紀氏

3. 懇親会 (16:30~17:30)

◇会費：1. 講演会 UIFA JAPON会員 1,000円 非会員 2,000円

2. 懇親会 UIFA JAPON会員・非会員共 2,000円

■1996年度役員会の報告

第1回役員会 日時 4月23日 役員13名出席

UIFA JAPON 1996年度通常総会の打合せ UIFAハンガリー大会参加に関する検討 (財東京女性財団助成研究申請経過報告 UIFA日本大会準備の検討)

第2回役員会 日時 5月9日 役員11名出席

UIFA JAPON 1996年度通常総会次第及び内容の検討 UIFAハンガリー大会参加に関する打合せ (財東京女性財団助成研究決定の報告 UIFA日本大会開催準備の検討)

■第12回UIFAハンガリー大会参加ツアー

ハンガリー ブタペストで開催されるUIFAハンガリー大会参加ツアーが設定され会員22名が参加（5月27日締切り）の予定です。

会議日程 1996年9月2日～8日

会議場 MTESZ House of Technics

会議テーマ 建築遺産の改築と再利用

日次	月曜日	発着地/滞在地名	発着時間	摘要
1	8月31日(土)	成田発 ブタペスト着	午前 午後	空路、ブタペストへ 着後、ホテルへ (第1日～第6日ブタペスト泊)
2	9月1日(日)	ブタペスト滞在	15:00～ 18:00～	Registration カクテルパーティー
3	9月2日(月)	ブタペスト滞在	10:30～11:30 12:00～13:30 15:00～18:00 19:00～	開会式 セッション 建造物視察 レセプション
4	9月3日(月)	ブタペスト滞在	08:30～13:30 15:00～16:00 16:00～	セッション 国会議事堂訪問 展示物取付け
5	9月4日(月)	ブタペスト滞在	08:30～13:30 15:00 18:00 19:00	セッション 建造物視察 展示会オープニング レセプション
6	9月5日(月)	ブタペスト滞在	08:30～13:30 14:00～16:00 16:30～17:00 19:00～22:00	UIFA代表者会議 大会宣言 閉会式 カラオケパーティ

7	9月6日(金)	ブタペスト発	早朝	空路、帰国の途へ
8	9月7日(土)	成田着	早朝	着後、通関手続きを経て解散 Aコース

7	9月6日(金)	ブタペスト滞在		スタディツアー 6日 ケチメート(7-17-6-建築) 7日 ティム-修道院(9世紀) 8日 木-9-カ(世界文化遺産) (第7日～第9日ブタペスト泊)
8	9月8日(日)			
9	9月9日(月)			
10	9月9日(月)	ブタペスト発	早朝	空路、帰国の途へ
11	9月10日(火)	成田着	早朝	着後、通関手続きを経て解散 Bコース

10	9月9日(月)	ブタペスト発 (船) ウィーン着		ポストコンGRESSツアー (第10日～第11日ウィーン泊)
11	9月10日(火)	ウィーン滞在		ウィーン視察
12	9月11日(水)	ウィーン発 ブタペスト着		(ブタペスト泊)
13	9月12日(木)	ブタペスト発	早朝	空路、帰国の途へ
13	9月13日(金)	成田着	早朝	着後、通関手続きを経て解散 Cコース

旅行代理店：近畿日本ツーリスト 東京千代田支店
TEL 03-3263-5522 担当 高橋一泰

■助東京女性財団助成研究活動

すまいをめぐる女性

－戦後50年の住宅と女性建築家の歩み－

この度、平成8年度財団法人、東京女性財団研究活動に対する助成金を受けることができました。研究テーマは、韓日交流セミナー以来取り組んでいた、“すまいをめぐる女性－戦後50年の住宅と女性建築家の歩み－”についての企画に対してです。これはすでに会員の方々に御協力いただき、提出された資料を基にしてまとめられています。

その内容は以下のように計画しております。

1) 戦後の日本住宅を設計する側から明らかにし、テーマの変遷を辿り、住環境政策に資する。

2) 住宅・住環境における女性の生活の変遷を住宅を通して明らかにする。社会における女性のポジションを向上させることに資する。

以上の2点を柱にして問題点を明確にするために以下の視点から資料を収集し、整理することとしています。

① 第2次大戦後の日本における50年の社会史・家族の変遷史及び、住宅政策の推移をとらえようとするものであり、これは、住宅と女性建築家の歩みをとらえる時に、基礎になると考えられます。

② 日本で最初の女性による建築事務所、「林・山田・中原設計同人」の設計活動について、その設立からの歴史を、資料を整理することでたどりたいたいと思います。

③ UIFA JAPAN会員の方々の作品を提出していただき、戦後50年の会員の歴史がたどれたらと思います。

21世紀が目前に迫っている現在、日本においては、年々建築学科、住居学科に入学を希望する女性が増加し、社会で活躍する女性の建築家が生活者の側からの“すまい”の計画にたずさわるようになってきました。それでもまだ、女性の社会進出には、さまざまな困難がともなっています。

日本における戦後、50年の“すまい”に関する歴史は、日本の女性建築家の登場の歴史とも云えますが、これからはさらに、高齢化社会を豊かに生きるための、よりよい環境づくりのために、皆で協力できたらと思いますので、この研究活動にお力添えいただきたく、ご報告いたします。

小川 信子

■会員の自己紹介 No.1

9410075 阿部 祥子

先日、女子学生の就職戦線の実情を聞く機会がありました。男女雇用機会均等法のもとにある国とはとても思えない現状で、女性が実力を蓄え、助け合い、社会に発言していく必要がいまだに高く、UIFAの果たすべき役割の大きさを痛感しました。



今考えると、私の現在は、学生時代に横須賀市の田浦キリスト教社会館を拠点とした地域調査に参加したことにあります。そこは、大学の先生や施設で働く人々が、深夜に及ぶまで熱い議論をし、自炊しながら合宿し、当時としては最先端の学際研究の場でした。学生の私には、研究の面白さと大事さを学び、研究者として生活環境を生活と福祉との関連で捉える視点を培う真の学校となりました。卒業後は、こどもの遊び場調査、サリドマイド児の被害を立証する生活調査、精神薄弱者施設の歴史研究などに取り組みました。

わが国の人口の高齢化に伴って、最近ではおばあちゃんのお宿で有名な巣鴨とげぬき地蔵の考現学調査、横浜市西区や佐渡相川町での高齢者の生活環境調査など、行政への提言を目指した研究をしてきました。また、生活環境のあり方が介護の質を左右するという視点から、介護福祉士の養成にもあたっている今日です。

愛知みずほ大学

9210007 安藤 玲子

業務用厨房施設的设计・施工にかかわって40年が過ぎた。長い間にホテル・学校・病院などの多くの厨房を取り組んだが、調理の過程を踏まえながら総合的に良い厨房を考えることは、なかなか興味深い面白い仕事であった。



現在のフード（料理・飲料）施設をとりまく環境は、人手不足や人件費の上昇・競争の激化・料理の多様性など、さまざまな問題を抱え変革しつつあり、特に「省力化調理システム」の確立が求められている。これらについて許すかぎり勉強を続けながら仕事をしたと思う。

厨房施設の計画・設計・施工についてのコンサルティングも仕事としており、会員諸姉の要請にも応じていきたいと考えている。

UIFA JAPONの諸姉は、仕事を通してよく協力し助け合い、女性の地位向上と発展を願いたいものである。

KFR研究所

9310052 安楽 玲子

東京都住宅供給公社に16年間に在籍した後、事務所を設立して11年目に入りました。事務所の仕事は生活から住まい、地域、社会計画と幅広い領域に関する調査、分析を基に、報告書を作成、一部実施設計まで行っています。近年の主な仕事は、東京都品川区で「住宅白書」「地域高齢者住宅計画」の作成に続き、「高齢者住宅モデルルームの実施設計、相談員派遣、セミナー実施」。同じ品川区で、長期計画の基礎となる人口動向を市街地形成の歴史とからめて分析した「人口問題報告書」を作成。この報告書には、人口推計・5地区実態調査（人口動向・土地利用等）・ライフステージ分類による世帯構造の分析・人口からみた大都市TOKYOの形成などがふくまれています。この他、時節柄高齢化に関する仕事が多く、九州の小さな町の「老人保健福祉計画」の作成、また現在K県で「高齢者住宅施設展示計画」作業中です。昨年の夏より、福祉施設及び高齢者住宅に関する建築計画及び利用実態の自主研究も行っています。近頃では、まちづくり懇談会の委員などの仕事も増えています。



Life
Environment
Culture

ちなみに事務所の名前LECは生活・環境・文化を意味します。ですから仕事の範囲はなんでも在りということになります。

(株)LEC研究所（一級建築士事務所主催）

9210003 飯島 静江

竹橋のR&Sビルを皮切りに、世界貿易センターなど数多くの建物の設備設計を10余年、ライセンス取得を設備設計の卒業証書に見立て、仕事は地域冷暖房、省エネ都市づくり、都市の熱源・情報・防災等都市のインフラ計画に範囲は拡大していきました。全国の空港周辺地域の騒音防止対策の調査をきっかけに、空港に関わる計画・調査に取組み、それ以来計画に参画した成田、新千歳、関空、仙台、新潟空港をはじめ全国の主要地方空港を飛行機で移動しながら仕事をする事10余年、現在では空港計画の仕事が大部分を占めています。何か空港に関する情報が必要な折、国内外問わずおたずねください。



UIFAイラン大会以来世界各地で開催された大会に女性建築家の亜流として参加、世界の女性達の活躍、都市の歴史と街に触れ、すばらしい仲間と出会え、さらに仕事上も世界の空港を視察でき、UIFA大会参加は大いに役立っています。

(株)日建設 計画事務所

Union Internationale des Femmes Architectes Japon

UIFA JAPON 事務局

〒102 東京都千代田区麹町2-6-5

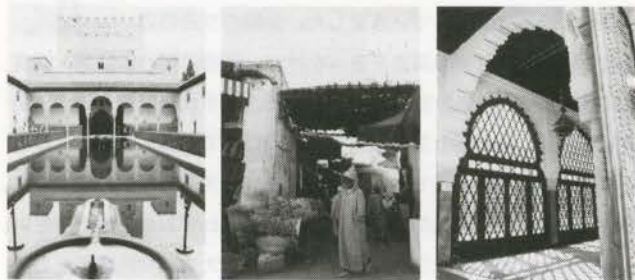
麹町E・C・Kビル 林生活構造研究所内

TEL03-5275-7861 FAX03-5275-7866

■海外だより

西洋建築研究の旅（モロッコ・スペイン）より

この3月、西洋建築史の桐敷真次郎教授引率のもとに、中原教授・学生18名他と研究旅行に行ってきました。桐敷教授作成の96頁にわたる資料を片手かなりのハードスケジュールで3週間、たっぷり「お勉強」した感じです。70本余のフィルムを費やしたアルバムを繰りながら、さて皆様方に何をお伝えしようか考えていると、異国中の異国らしさを体験した様々な地での想いがわっと押し寄せてきて、うっかりすると1ヶ所だけで頁が埋まりそうです。沢山目にし、入る事のできたイスラム建築の偉容と繊細な美しさ、細かい彫刻が施された特徴的なイスラムアーチ、床から壁に至る彩り、鮮やかなモザイクタイル、中庭の優雅な造りや工夫を凝らした噴水etc。私達の日常感覚では一寸測り難い広大なスケールの遺跡・城砦・宮殿・寺院等有名な建築物の凄さ立派さは本・写真でも紹介されているし、拙い筆には余るので省略しますが、そのような建物の中に身を置けたことは感激でした。また、モロッコからスペインへと北上したので、スペインにおけるイスラムの影響が多少は理解する事が出来、背景にある長期のキリスト教とイスラムの攻防が、グラディエーションのように建築物の様式に反映されていることもおぼろげに実感することが出来ました。モロッコもスペインも迷子になりそうな旧市街は、行き交う人も家々も物珍しく面白く、いつかは非行かれると良いと思います。びっしり並んだ店や市場には手作りの品々が息づいている活気が溢れています。郊外はまだまだ自然が豊かに広がり、バス道から、えんえんと続くオリーブ林や日本で見慣れない牛・羊・豚等の放牧も沢山眺められました。ただ、スペインの郊外ではあちこちに大型の建設機械が目立ち、それが日本の乱開発を連想させ、他国事ながらやや気になりました。 峯 成子



■NEWS - 会員の活動 -

女性建築家が歌う ちいさなまちづくり音楽会

声楽の勉強を再開したのは子育ても一段落した39歳の誕生日 子供の頃夢見た歌姫への思い止みがたく意を決して先生の門を叩きました。あれから〇年、気力、体力、仕事共に充実している現在、音楽会を開きたいと思いました。今日よりも前には出来なかったし、今日よりも後では年を取り過ぎて声が出ないかもしれない、今この時が歌姫になれる日かもしれないと思い、音楽会を開くことにしました。



女性建築技術者としての立場からまちづくりトークをまじえた楽しい音楽会、初夏の夕べのひとつとき一緒に出来れば幸いです。

日時：1996年6月6日（木） 19:00開演

会場：川崎市産業振興会館ホール JR・京急川崎駅下車

連絡先：佐藤音楽事務所 TEL044-344-2275

(株) 建興建築設計部 佐藤 久美子

ALCCヴィジュアルウィークのご案内

◇タイトル：〈共に住む、共に生きる、共に創る〉 - コレクティブハウジングの昨日・今日・明日 - と題して [ALCCスライド紙芝居] 上演を中心に、展覧会とトークのフォーラムを開催します。

◇このスライド紙芝居は、取材、編集等一年の余かけたALCCのオリジナルで国外、内編共30分程度の編成で大好評です。

◇会期は、6月27日から7月9日まで。フォーラムは6月29日14時～16時。西新宿のパークタワー内のリビングデザインセンターOZONE。展覧会は7階生活スタジオ。フォーラムは8階セミナー室。

◇ALCC連絡先：アトリエM 船山 TEL:045-320-5009

FAX:045-320-5779

または渡辺まで。忙しい場合はFAX連絡が良い方法です。参加を歓迎します。

東京都住宅局 渡辺喜代美

■広報だより

1996年度新たな年を迎え UIFA JAPON広報誌はこれまで隔号で発行されたD'AUJOURD'HUIをNEWS LETTERに一本化し、会の活動と会員相互交流の活性化に役立つように新たなテーマの記事を掲載して、紙面のより一層の充実化を図ることにしました。

- 会員の自己紹介 手掛けた仕事 取り組んでいる仕事 協力できる分野等の紹介
- NEWS ニュース性のある会員活動 他団体の催し物等の紹介
- 海外だより 都市、建築、生活などを中心に海外事情の紹介

NEWS LETTER、会が発行するパンフレット等に掲載する広告を募集いたします。ご協力下さい。（募集要項は追ってお知らせいたします）